



ふたかみ NEWS プチトマト

FUTAKAMI NEWS PUCHITOMATO



ほまれっこ バスツアー!

3月23日(土)堺のハーベストの丘に行ってきました。観覧車に乗ったり、ゴーカートや変わり種自転車に乗って楽しみました。お弁当を食べた後は羊の毛刈りショーやアルパカなどかわいい動物とのふれあいも楽しみました。



HB 作品紹介

ハピバールのなかまの作品を毎月紹介していきます。



「自分」

缶つぶしの班からやって来ました。ずっと力仕事をしてきた無精ひげの力持ち。ハピバールへ来て初めて絵を描き始めると、何と繊細な事。面材も綺麗にきっちり並べ丁寧に扱います。とても優しくて「ハゲ!!」が口癖です。お客様に言うのはやめてほしいんですけどね…



- 後援会入会 (敬称略) 18年度3月16日~31日・・・田邊朋子、田邊佑介、山下記永、石井勝代
- 寄付・・・丸山秀樹 様
- ボランティア・・・であい 様 / 畑 英作 様 / 細川直幸 様 / 松倉和代 様 / 垣内秀夫 様
- アルミ缶回収・・・1090kg

ありがとうございました。

チャリティーコンサート2019

- 1部 障害のある仲間とボランティアのうたごえ
- 2部 芥川高校和太鼓部コンサート

【芥川高校和太鼓部プロフィール】

2回の国立劇場公演、11か国での海外公演実績がある。中国政府から招かれての北京公演、文化庁による派遣でシンガポールでも演奏した。日本を代表する高校和太鼓チームで、地域のイベントや福祉施設、学校にも赴いている。日本各地の太鼓や踊り、民謡の他、制作にも取り組む。

- 日時: 6月8日(土)
開演: 15:00 (開場 14:30)
- 場所: LIC はびきの ホールM
(羽曳野市経里1町目1-1)
- チケット: 一般 ¥1,500 / 割引 ¥1,000** / こども ¥500**
**1歳がいま・介助者、高齢者(65歳以上)、中学生・2小学校、幼児(座席に座る場合)

5月 物品販売イベント

はびきの園

- 5日(日・祝) 羽曳野市民フェスティバル
・・・9:30~16:00 18ブース
- 18日(土) 葛井寺・・・10:00~14:00
- 25日(木) 道明寺・・・10:00~14:00
- 28日(火) 滝谷不動産・・・9:00~14:00

HB ハピバール

- 5日(日・祝) 羽曳野市民フェスティバル
・・・9:30~16:00 18ブース
堺古墳まつり(10:00~16:00)
- ハピバール2周年感謝祭
26日(日)・・・10:00~14:00

「これからも
にっこりほっこり」

平成を振り返り

「平成」とは「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味が込められているそうです。「平成」を振り返ると、日本国としては戦争が無かった時代と言えるのではないのでしょうか。さて、2019年5月より元号新しく「令和」となります。引き続き、日本国として戦争が無い時代を引き継ぎ、国の内外に関わらず、天地とも平和な世界を求めていきたいですね。

72年前のこと

今年の5月3日は日本国憲法が施行されて72年目を迎えます。憲法が成立し国民に知らせたのは1946年11月3日(公布日)でそれを記念して文化の日と祝日と定められました。

戦後すぐの様子は、食料も少なく生活はとても苦しい時代です。戦争で両親をなくした子どもたちも多く餓死者もでていました。国会(当時は帝国議会)は大日本帝国憲法からの法改正を審議す

心機一転ほまれっこ

ほまれっこは2019年4月からほびきの園(旧アトリ工場)に引っ越しました。自然豊かに場所に代わり大きな公園も近くにあり今まで以上に楽しい遊びができるかとわくわくしています。

ほまれっこでは子どもたちが「ホッ」とできることを大切にしています。そして、日々の活動を通じて子どもたちが楽しい経験ができる放課後作りを行っています。

そして、色々な学校の様々な年齢の子どもたちが同じ経験を重ねることと子ども同士の繋がりをより深めていけるように心がけています。そして遊びや体験など楽しいことを提供するだけでなく、障害による生活のしづらさ、体や心の変化、思春期の課題などしっかり向き合いながら、子どもたちの成長にしっかりと寄り添い支援を行なえるように今後も目指していきます。



ほびきの園
なかま職員と共に

ほびきの園では、法人の理念を基に、障害があるなかま達の「その人らしく生きていくこと」、「生きる意義を感じて生活すること」を支援し保障していきます。

作業や日中活動を通じて職員との関係を基盤にし、そこから人間関係を広げることが大切になります。また、重度のなかまは、家族や医療と連携しながら、「安心・安全・安楽」を目標に取り組みます。これまで大切にしてきた「労働」の視点では、生活介護事業、「職員と共に働き、社会での役割を実感すること」、就労継続支援B型事業、「労働意欲の向上」と「給料を使って生活をよりよくしていきたい」という思いを膨らませること、就労移行支援事業、「2年間の訓練を通して、社会へ出て働く意欲や技術を獲得できること」を大切にします。

また、「地域」の中でのつながりを大切に、新たな作業開拓や取り組みの幅を広げることに力を入れていきます。

ふたかみ福祉会の
めざすもの

わたしたちの社会福祉事業で一番大切にしている「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する(憲法25条)」の文言は、この国会で生まれました。

ふたかみ福祉会は、「かがやく命を大切に作る社会をつくり出す」の理念のもと、日本国憲法でうたわれた、平和と、個人の尊厳を大切に、権利が保障され、地域の中で自立した生活を営むことができるよう、多様な福祉サービスを通じ、利用者が、安心して暮らせるよう支援することを定款(法人の根本原則)の第1の目的に掲げています。



このまちで
にっこりほっこり

私たちは、日本国憲法と障害者

2019年度の
各事業者の方針です

の権利条約を活かして、これからも障害があっても一人の主人公として、人間としてたくましくゆたかな人生を一緒に築いてきます。障害のある仲間たちの「働きたい」、「友達と楽しく暮らしたい」という願いを真ん中にして、私たちが「何のためにどんなことをやりたいのか」を一緒に考え方向性を示し、そのねがいや要求を実現するための条件を作りたいと思います。

常務理事 石本悦二

みんなでホップ！
ステップ！ジャンプ！

おかげさまでハビパールは丸2年が過ぎました。開所当初は仲間も職員も何もないところから始めて、みんなでカフェの食器を買いに行ったり、片付けをしたりしたことが懐かしい思い出です。

この4月からは3年目に入り、新しい仲間、職員を迎え新しい年度がスタートしました。管理者も

自分らしく、いきいきと
大西記念センター

大西記念センターでは2つの事業をおこなっています。

① 共同生活援助はばたき(グループホーム)

はばたきには現在22名のなかまが生活しています。年々、通院支援や健康管理等の課題が増えてきていますが、健康管理にこだわりすぎななかまの生活が窮屈になってしまわないよう気を付けていかなければなりません。加えて、自分らしく生き生きとした暮らしができるようホームの中だけの支援にとどまらず、地域や他事業所と連携しながら暮らし全体を支えていきます。

② 短期入所ほまれの里(ショートステイ)

ほまれの里では家庭での緊急時の受け皿として、また家族のレスパイトをサポートする役割を持っています。定員が5名のため、日々、職員の確保や利用調整が必要ですが、利用したい時に利用できる事業所となるよう、力をつけていきたいと思えます。

変わり新しいハビパールになりそうです。

ワークスはジャム用のくだもの皮むき、アトリ作業を中心におこなっていきます。今年は1年かけて仲間一人ずつ個展を開催します。

カフェはメニューの充実やイベントなどをおこない、地域の方々により愛されるお店にしていきたいです。仲間もカフェに関わる作業を増やしていきます。

これまではホップ、ステップ、3年目の今年はジャンプです！2019年度も、よろしくお願いたします。



大西記念センターへ
移転しました。

暖かい春の気配が感じられる3月12日に支援センターはる生活担当は、記念センターショートステイ横部屋に移転しました。

支援センターはる開設以来、就業・生活事業と同室で事業を行ってきました。初めての独り立ちで様々な不安はありましたが、荷物の整理をしながら、次第に落ち着きを取り戻しつつあります。



移転によりショートステイの場で仕事をさせてもらうことで、夕方になり利用者へ声をかけてもらったり挨拶をしたりとほっとする一時を過ごさせて頂いています。

また、ショートステイの中で必要があれば、気軽にお手伝いできればと思っています。障害のある方の生活を直接感じながら、気軽に相談できる支援センターでありたいと思えます。